

3月のHUGだより

情報提供者：やましろ小児科 山城 武夫

今月のテーマ

小児科医からお父さんお母さんへのメッセージ

『HUGだより』も1年、12回のメッセージお届けすることができました。
今回頂きましたテーマに、私なりにお母さんにお伝えしたいことが二三あります。

外来小児科は感染症を中心とした疾病、けいれん性疾患 アレルギー疾患（喘息・鼻炎・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー等）、心臓病、呼吸器病、消化器病、ワクチンで予防できる病気 {VPD (Vaccine Preventable Diseases)} 即ち、予防接種を扱います。それに、発達を中心とした育児相談。注意欠陥・多動障害 (Attention-defect Hyperactivity Disorder、ADHD)、対人関係の障害、コミュニケーションの障害、想像力の障害（空気が読めない）など子育てに些か困難を感じるお子さん達の相談を受けます。



また、最近ではゲームを中心としたインターネット依存症が問題になってきました。

一つの疾病としてWHOはゲーム依存症を「ゲーム障害」と病名を定義します。それに対処するには、教育現場や家庭でのメディア・リテラシーが大切になります。即ち、情報の本質を見抜く力を養う、鵜呑みにしない、発信源（者）を確かめる、自分にとって何が大切か比較し判断し、依存しないインターネット・SNSの利用を親子で考えていく機会を持つことです。



最後に、私は子育てには、特に小さい間は、親の五感をフルに活動していただきたいのです。

乳児は肌を離すな、
幼児は肌を離しても手を離すな、
学童生徒は手を離しても目を離すな、
思春期は目を離しても心（ここでの心は対話）を離すな。
を、お父さんお母さんへのメッセージとさせていただきます。

